

# 哲學研究

第五百六十九號

平成十二年四月十日發行

## 彙報

- 對話と想起……………内山勝利  
——プラトン哲学の「方法」——〔その二〕  
道德起源論から進化倫理学へ（三）……………内井惣七  
現代フランスの認識論の哲学……………小林道夫  
——G・G・グランジェの哲学を中心に——  
カマラシーラの直接知覚論における  
「意による認識」(manasa)……………船山徹

京都大學文學部内  
京都哲學會

## 京都哲学会規約

- 一、本会は広義における哲学の研究とその普及を図ることを目的とする。
- 二、右の目的のために左の事業を行う。
  - (一) 会誌「哲学研究」を発行する。
  - (二) 毎年公開講演会を開く。
  - (三) 随時研究会を開く。
- 三、本会の事業を遂行するために委員若干名をおく。委員は京都大学大学院文学研究科の旧哲学科系所属教官の有志、および委員会において推薦したものに委嘱する。
- 四、本会は賛助員若干名をおく。賛助員は会員の中から委員会が推薦する。
- 五、本会は会員組織とし、会員には資格の制限を設けない。学校・図書館・其他の団体は団体の名を以て入会することができる。
- 六、会員は年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円(数冊分)を前納する。
- 七、会員は会誌の配布を受け会誌に予告する諸種の行事に参加することができる。
- 八、本会は事務所を京都大学文学部内におく。
- 九、規約の改正は委員会の決定による。

## 京都哲学会委員

藤福長根中中徳筒田藪杉佐川加片芋内内岩井乾伊伊池芦  
 々  
 田谷谷立村畑永井中田村木添藤柳阪山井城上 藤藤田名  
 和 正研俊正宗清紀 靖丞信尚栄直勝惣見 敏邦和秀定  
 生茂當介春志雄忠行坦彦平介武一行利七一俊郎武行三道  
 山御水松寶藤  
 本牧谷田月田  
 耕克雅素 正  
 平己彦二誠勝

哲学……沢崎壮宏、柴田健志  
 西洋哲学史……松本祐史、平尾彰弘  
 倫理学……小林亜津子、伊勢田哲治  
 宗教学……國松萌美  
 美学美術史……大原嘉豊、若林雅哉  
 インド哲学史……室屋安孝、池山説郎  
 仏教学……岩本明美  
 心理学……梶井夏実、梅村浩之、田中茂樹  
 社会学……野中亮、丸木泰史

前 号 目 次

「神の像」と「人間」……………水垣 渉  
 — 古代キリスト教における思想形成の前提と条件について —  
 ヘーゲルによる「自然哲学」の改訂……………加藤尚武  
 — その哲学体系における「数学」の抹消 —  
 キリスト教信仰と宗教言語……………芦名定道  
 スピノザと主観性の消失……………松田克進

次号論文予告

「神の像」と「人間」(二)……………水垣 渉  
 アウグスティヌスのコギト……………片柳栄一  
 古典力学における運動法則の歴史性……………伊藤和行  
 複製の知覚……………前川 修

会 告

一、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けません。入会希望の方は京都市左京区吉田本町京都大学文学部内京都哲学会（振替口座〇一〇二〇一―四〇三九 京都哲学会）宛に年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円（数冊分）をお支払下さい。又会員への会誌送付、バックナンバー購入及び発売に關する一切は東京都千代田区麹町二一六―七創文社（振替口座〇〇一―二〇一―〇一九二四七二）宛に願います。

一、会員の転居・入退会の事務及び編輯事務の一切は京都哲学会宛に御通知下さい。

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雑誌等は本会宛にお送り下さい。

京 都 哲 学 会

〒六〇六一八五〇一  
京都市左京区吉田本町  
京都大学文学部内  
〇七五七五三一七三三

平成十二年 四月五日 印刷  
平成十二年 四月十日 発行

編輯兼 京 都 哲 学 会  
發行人 京 都 哲 学 会  
編輯委員 藤 田 正 勝

代表

山 本 耕 平  
御 牧 克 己  
寶 月 誠

發 売 所 株 社 創 文 社

久 保 井 浩 俊

〒一〇二一〇〇八三  
東京都千代田区麹町二一六―七  
電話 〇三―三二六三一七―一〇一  
振替 〇〇一―二〇一―〇一九二四七二

印 刷 所 曙 印 刷 株 式 会 社

註 文 規 定

一、会員以外の購読者の御註文及び広告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい。  
一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、送料七三円）前金にてお送り下さい。

平成十二年四月五日印刷  
平成十二年四月十日發行

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

NO. 569

April

2000

---

---

Articles

*Dialogue and Anamnesis. An Introduction to the Method  
of Plato's Philosophy (Part 2) ...Katsutoshi Uchiyama*

*From the Origin of Morality to the Evolutionary Ethics,  
part II : Reductionism in the Normative Ethics,  
continued .....Soshichi Uchii*

*La philosophie de la connaissance d'aujourd'hui en  
France — Autour de la philosophie de Gilles-Gaston  
Granger ..... Michio Kobayashi*

*"Mental Cognition" (mānasa) in Kamalaśīla's Theory  
of Direct Perception ..... Toru Funayama*

Notes

Published by  
THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY  
(The Kyoto Tetsugaku-Kai)  
Kyoto University  
Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-4 特別定価 本体 2,500 円 + 税